

～希望の扉～

札幌市立石山中学校

学年だより 第5号

令和元年11月1日

～合唱コンクールを終えて～

10月25日（金）に合唱コンクールが行われました。1学年の結果は2組が金賞でした。学校祭が終わってすぐに練習が始まり、3クラスとも準備期間からたくさんの練習を重ねてきました。練習の方法がわからなかったり、クラスがバラバラになったりと悩んだ場面もたくさんあったと思います。みんなで一つの物事に取り組むときは、そう簡単にはいかないことが多いです。しかし、そのようなときに一人一人が真剣にクラスのことを考え、どう行動するかが大切になると思います。合唱は良い歌を歌うことだけが目的ではありません。みなさんは合唱コンクールを終え、どのようなことを感じ、経験することができましたか。振り返ってみましょう。そして来年、今年の反省を生かしてより良い合唱になることを期待しています。本当にどのクラスも素晴らしい合唱でした。

～合唱コンクールを終えての感想～

1組 眞鍋 快陸

僕は本番で今まで頑張ってきたことをあまりできなかったです。なので2年生や3年生の合唱コンクールでは、今年以上に努力してさらにきれいに歌えるようにしたいと思いました。そして3年生のように上手く歌えるようにしたいです。

今回の合唱コンクールでは、あまりいい結果ではなかったのですが練習の時に先生にアドバイスされたことを2年生で生かして、気持ちよく歌うことができるようにしたいです。また他のクラスの合唱の良かった所を取り入れてより良い合唱になるように努力したいと思いました。



4組 谷口 空海

僕は他の学級と交流できてとてもよかったです。1年1組と一緒に「行き先」を歌い、僕はアルトパートで練習しました。練習で一番頑張ったことは、まわりと音程をそろえようと工夫したことです。

合唱コンクール本番では他の学級も上手でしたが、一生懸命歌うことができたので良かったです。今年金賞は取れませんでした、みんなと頑張れたので楽しかったです。

来年は2年生なのでさらに練習を頑張りたいと思います。そして来年は「リフレイン」に挑戦したいです。



2組 山上 晴大

本番では練習以上までとはいかなくても、全力を出して音もとれて歌えたので良かったです。しかしもう少し声を出してサビのハーモニーをさらに響かせられたら良かったと思いました。そしてスローガン「奏」に向けて、クラス全員できれいなハーモニーを奏でることを努力してきました。合唱コンクールでは、日々の練習の努力が実を結んだと思います。



2組 松下 未侑

本番で全力を出して歌いきることができて、良かったと思います。アルトでは音をとることが難しく、ソプラノと合わせると全然歌うことができなかったのですが、練習を積み重ねることでしっかりと歌えたので、とても良かったです。練習の時はみんなで協力し合い、一つ一つの音をしっかりと確認し、努力を重ねていきました。本番では練習の成果を発揮することができ、2組全員が一生懸命取り組むことができました。合唱コンクールを終えて、「みんなで協力する」ということがしっかりとできていたと思います。みんなでどこを直すか相談して話し合い、完璧になるまで練習しアドバイスをパートごとにし合っていたので、とても良かったと思います。

3組 伴 花音

初めての合唱コンクール、私は指揮者になりました。指揮をした経験は一度もなく、どのように指揮をすればいいのか、どのように指示を出せばいいのか、とても不安でした。クラスのみながなかなか静かにならず、練習時間が少なくなってしまったので厳しく注意すればよかったと後悔しています。でも1年3組の一番良い「変わらないもの」を本番で歌うことができたので良かったです。結果は残念でしたがとても良い思い出になりました。このメンバーで歌うことはもう無いと思いますが、初めての合唱コンクールで学んだことを生かして来年は金賞をとれるように頑張りたいです。



3組 若狭彩音

1学期から合唱コンクールの取り組み、2学期の途中から本格的に練習を始めました。練習の最初の頃はきちんと練習をする人が少なく、あまり練習が進みませんでした。ですが、本番一週間前になり朝練を始めたり本番前日に山田先生利用券を使ったりと、焦ってしまいました。なので来年は練習期間が始まり次第すぐに朝練を始め、計画的に練習を進めていきたいと思っています。そして今年以上に素晴らしい合唱にしたいです。



